

アイ・シーたんなんだより 公立丹南病院

2019年
冬号

Vol.54

めがねのまちの眼科として

外科部副部長 眼科 廣瀬 文司



私が赴任したのは公立丹南病院がフルオープンした2000年春からで、早いもので18年半が過ぎました。

開院当時は、前身である国立鯖江病院が週1〜2の非常勤医師によるパートであったためか、今ひとつ周知されていない感じで、外来患者数も1桁、手術

も数える程でした。「めがねのまち」ということで開院にあたり、眼科開設には結構な設備投資をしていただいたのに心苦しく感じていました。

当初はスタッフも少なく、自分で患者さん呼び込み、自分で視力検査など検査を行い、そのまま診察室で診察なんてこともざらでした。そんな

経験もあり、眼科医として幅が広がったように思います。

現在医師2名、視能訓練士2名、看護師2名にて外来診療を行っています。結膜や眼瞼、涙道などの前眼部疾患をはじめ、白内障や緑内障、糖尿病網膜症、加齢黄斑変性など、さまざまな疾患の診療を行っています。目の状態について、わかり易い病状説明を心がけて診療しております。

手術は主に白内障手術を中心にを行っています。まぶたの手術や涙道疾患さらに黄斑円孔、網膜剥離などの網膜硝子体の手術も行っています。また加齢黄斑変性や糖

尿病黄斑浮腫などに対する硝子体内注射治療も行っています。

白内障手術は日帰りでも行っていますが、総合病院という特質上、他院から紹介いただく症例や全身疾患のある患者さんが多いため、入院をメインに行っています。

昨今、白内障手術は簡単ですぐに終わる手術と思われています。さらに術後は運転時にメガネがいらぬようにするなど、希望する視力に合わせるといふようにハードルが上がっています。手術の腕を磨くのは当然の事、精度の高い検査機器を導入したり、乱視矯正レンズなど、最新の眼内レンズを取り入れたり、術後のQOV (quality of vision) を上げる努力をしています。

鯖江は行政ではいち早く3歳児健診に屈折検査を導入したり、眼鏡産業ではその技術を生かし、眼科用マイクロサージャリー器具の生産・開発を行っている。子供のメガネ定額制サービスを始めた。など、目の健康に対する意識の高いまちです。そんな地域の方々に信頼される「めがねのまちの眼科」として、これからも頑張りたいと思います。



認知症看護 認定看護師より



5階病棟 堀 佑利恵

こんにちは！平成30年10月より認知症看護認定看護師として活動させていただくことになりました、5階病棟の堀佑利恵です。

皆さんは、認知症の方に対してどのような思いを持っておられるでしょうか？物忘れがひどい、怒りっぽくなる…、そんなふうマイナスの思いを持っておられないでしょうか？

認知症は加齢に伴う脳の病気です。認知症の中でも最も多いアルツハイマー型認知症の方は、記憶の力は早くから低下していきませんが、習慣的に行っていたことや住み慣れた場所での生活はスムーズに行うことができます。新しいことは、記憶に残りにくいですが、昔から積み上げられた記憶は残っています。ご自分のペースで住み慣れた生活環境であれば、問題なく生活することができます。

しかしながら、認知症以外の病気の悪化やけがによって、入院することになると普段とは違う状況に置かれてしまいます。普段とは違う生活環境で、かかわる人も初めての人ばかり。体の具合も何だかいつもと違う…。認知症の方にとって表しがたい苦痛や混乱を招くことになり

ます。入院に伴って、認知症が悪化したように見えたり、おかしくなってしまったのではないかと、思えることがあります。これは、元々の認知症に心身のストレスや苦痛、周囲の環境の変化、適切な対応がなされないことなどによって引き起こされる症状です。

例えば、手術後の痛みがあっても、記憶の低下によって手術したことを忘れてしまっている

と、なんでこんなに辛いかわからないため、痛みの訴えが適切にできません。眠れなかったり、食事が進まなくなったり、治療やリハビリなどを嫌がったり、怒ったりする形で、苦痛を表されるのです。要因となるものに早く適切に対処すれば、徐々に落ち着いていきます。



認知症ケアの理念は、「適切な支援で障害を最小にし、その人らしく」と言われています。認知症の方でも、安心・安全に、その人らしさを大切にして、丹南病院での治療を受けられるように支援させていただきます。また、介護されているご家族の心配事やご相談にも対応していきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

看護部長よりご挨拶

看護部長 馬場みゆき



はじめまして
平成30年4月から看護部長を拝命した馬場と
申します。

みなさまもご存じのように、65歳以上の人口が全人口に対して21%を超え日本は2010年に超高齢化社会へと突入し、2025年には約30%に達すると予測されています。ちなみに丹南地域における高齢化率は28.2% (2015年)です。国は「時々入院、ほぼ在宅」というキャッチフレーズを掲げ、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができる地域包括ケアシステムの構築を目指しています。

さて、当院は、人口19万人を有する丹南地域の公的中核病院です。2次救急や災害時、さらにへき地医療支援の拠点病院としての役割も担うとともに、地域包括ケア病棟というご自宅などへの退院を支援する部署もあります。

看護部では、このような社会・医療の変化、

施設の役割などをとらえて、看護を実践できる看護職の育成に力を注いでいます。そして、複雑な治療処置や退院支援、患者ニーズの多様化などに対し、看護職一人ひとりが倫理観を持ち、自律した看護実践ができるよう取り組んでいます。

また、医師や薬剤師、リハビリ職員などとともに、患者さんやご家族を支えるチーム医療を進めています。看護職が看護に誇りややりがいを感じて、生き活きとキャリアアップできる職場をつくるのが、より良い看護に繋がると確信しています。今後も地域のみなさまに貢献できる看護部であるよう努めてまいります。



公立 丹南病院

〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31

公立 丹南病院

TEL:0778-51-2260 FAX:0778-52-8620
ホームページ: <http://www.jadecom.or.jp/jadecomhp/tannan/html/>
メールアドレス: tannan-info@jadecom.or.jp

公立丹南病院 在宅事業部

居宅介護支援事業所 〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31
TEL:0778-52-2050 FAX:0778-52-2151
訪問看護ステーション メールアドレス: tannan-zaitaku@jadecom.or.jp

**通所リハビリテーションセンター
なごみの里** 〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31
TEL:0778-51-5234 FAX:0778-51-8242
メールアドレス: tannan-nagomi@jadecom.or.jp

**通所介護
よつばの里** 〒916-8515 福井県鯖江市三六町1丁目2-31
TEL:0778-51-5411 FAX:0778-51-8242
メールアドレス: tannan-yotuba@jadecom.or.jp

